

令和3年度 第1回 京都府域渋滞対策協議会

京都都市圏WGにおけるTDM施策の議論について

緊急事態宣言下(R2)において、交通量の減少等に伴い、一部の主要渋滞箇所では旅行速度の向上がみられた。



旅行速度が向上した主要渋滞箇所のなかには、**交通量の減少割合が小さい(推定)**のに、旅行速度の向上がみられた箇所があった。



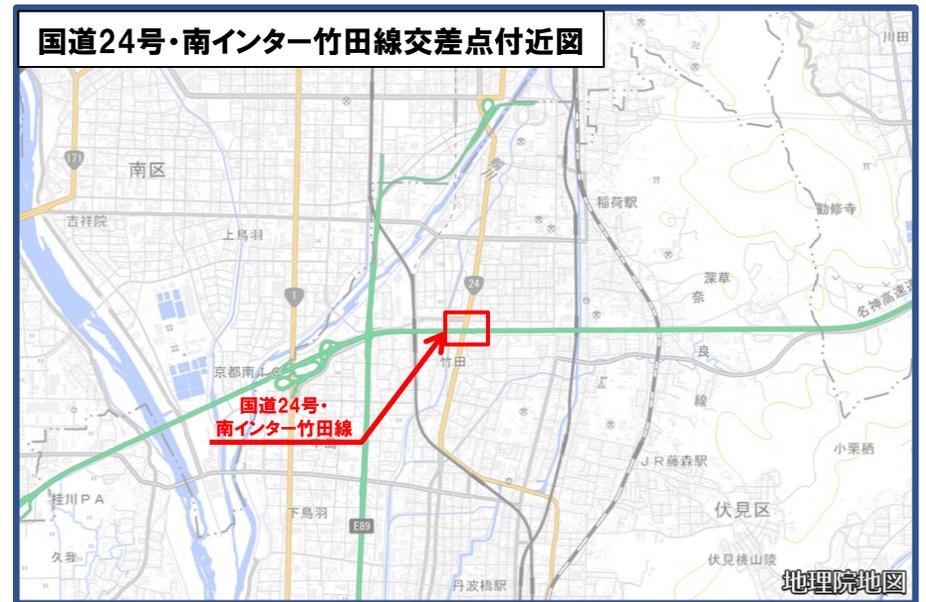
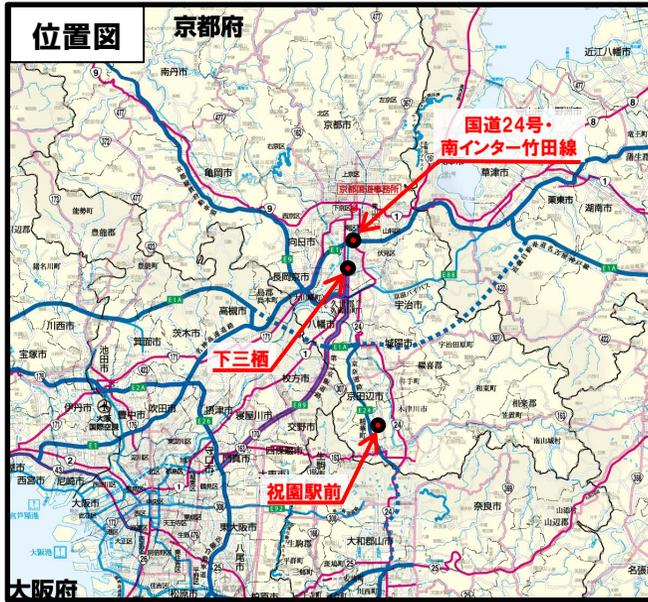
上記のような箇所においては、何らかのソフト施策(TDM)等により交通量を少し減らすことができれば、緊急事態宣言下と同様に、旅行速度の向上が期待できる。



上記の箇所において、ETC2.0等のビッグデータを活用し、**ソフト施策(TDM)等による渋滞解消の可能性を調査・分析**する。

1. 背景（令和2年度第2回渋滞対策協議会資料より抜粋）

OR3年度以降、以下の候補箇所※において、ソフト施策(TDM)等による渋滞解消の可能性を調査・分析の予定。



※候補箇所については、関係機関との協議等を踏まえて見直しも検討

2. TDM施策の検討体制について

- 平成30年度の京都府域渋滞対策協議会において、京都都市圏ワーキンググループの設置が承認され、事務局は、京都国道事務所 計画課が中心となり関係機関と連携し担当することとなった。
- 主要渋滞箇所のソフト施策(TDM)などによる渋滞解消についても、京都都市圏WGにおいて調査・分析及び議論する。

京都府域渋滞対策協議会

京都都市圏ワーキンググループ

【目的】

- 京都府域でも多くの主要渋滞箇所が集中し、日本有数の観光都市である京都都市圏の交通状況や課題、対策について議論を継続的に実施

【構成員】

- 京都国道、京都府、京都市、京都府警及び関係する基礎自治体により構成

【事務局】

- 京都国道事務所 計画課 他

3. 検討の進め方

○今後基礎的なデータの整理を進め、本年度第1回のWGを11月中旬～下旬に開催する。

■スケジュールについて

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
渋滞対策協議会	協議会の開催								
京都市圏WG	基礎データの整理				WGの開催	TDM施策の実施箇所や施策内容の検討			
	7/22 下三栖交差点を 通過するバス路線 の見直し								

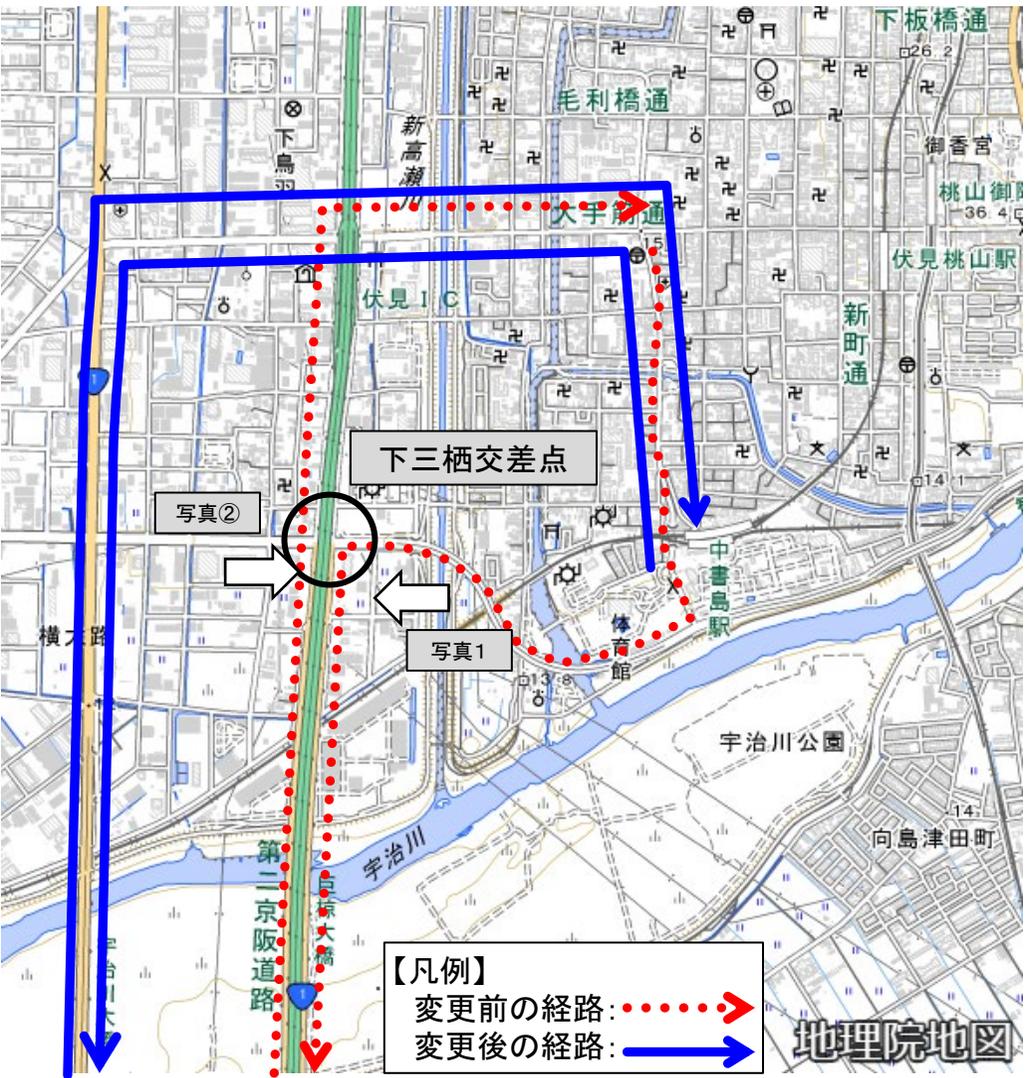
■WGでの協議事項について

京都市圏WG	主な議事内容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・現況に関する基礎データの整理結果の報告 ・京都京阪バスの路線見直しに関する報告(下三栖交差点) ・今後の検討の進め方について

4. 下三栖交差点でのソフト施策内容・効果検証方針

- 下三栖交差点では、令和3年7月22日より路線バスの経路変更(97便)が予定されており、走行経路である東流入部や南流入部において渋滞緩和が期待される。
- ETC2.0のプローブデータを用いて、東・南流入部での旅行速度を確認し、効果検証を実施する。

■路線バスの経路変更について



■下三栖交差点の混雑状況

